

社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

平成29年 3月24日

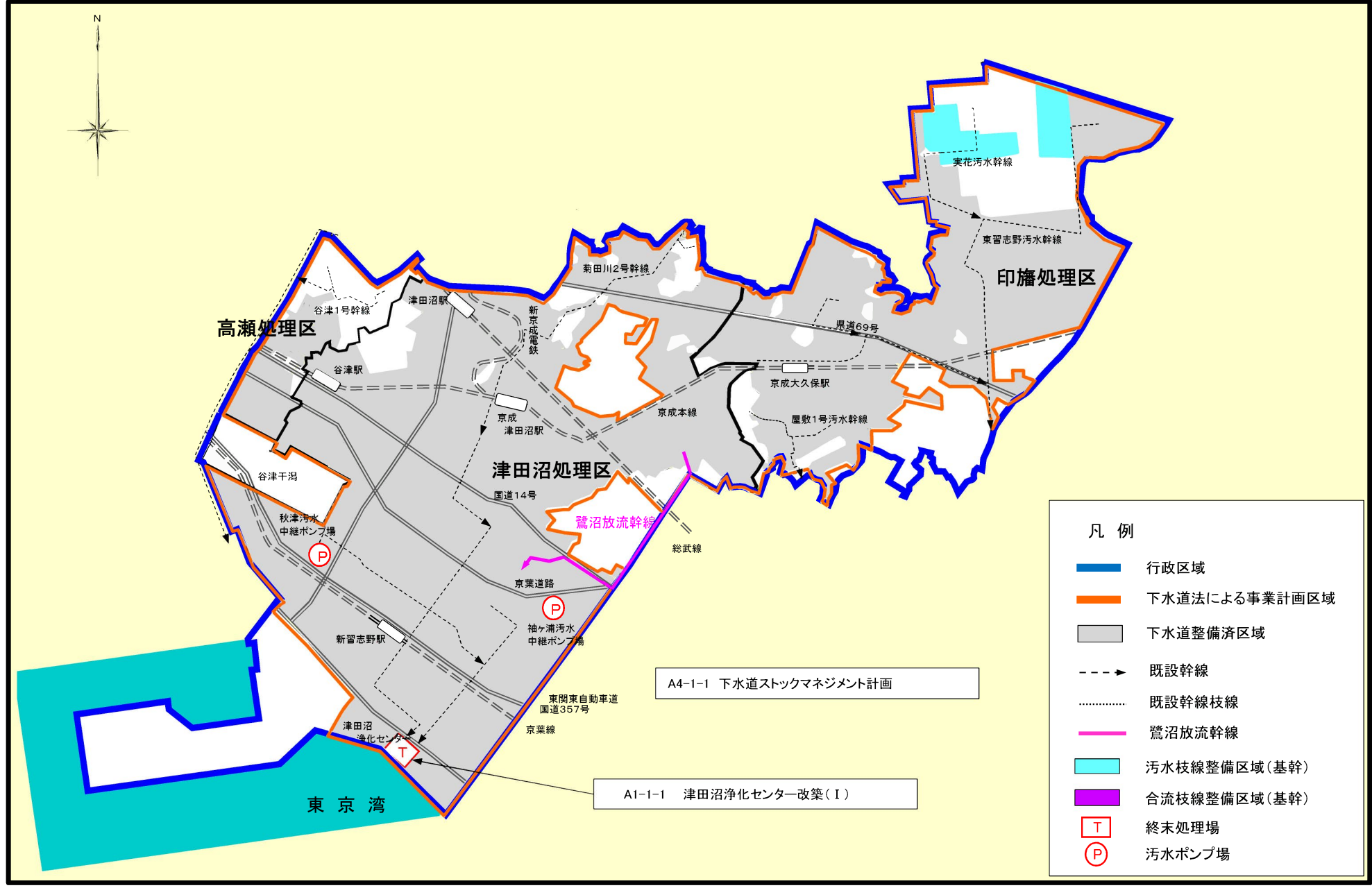
計画の名称		習志野市における安全で安心な下水道整備(防災・安全)						重点配分対象の該当										
計画の期間		平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		交付対象		習志野市												
計画の目標		公共下水道の整備を推進することで、施設の機能保全、長寿命化及び災害時の安全性の向上による公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図る。																
計画の成果目標(定量的指標)		①処理場(管理棟電気設備等)のポンプ施設、消毒施設、自家発電設備等の機能保全・長寿命化を図る。 ②持続可能な下水道事業の実施を図るため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。																
定量的指標の定義及び算定式		①処理場における施設の長寿命化(管理棟設備)の達成率 $\frac{\text{長寿命化対策済みの施設数(箇所)} / \text{長寿命化対策を実施すべき施設数(箇所)}}{}$ ②公共下水道施設のストックマネジメント計画の策定率 $\frac{\text{策定済みの計画数} / \text{策定すべき計画数}}{}$			定量的指標の現況値及び目標値			備考										
		当初現況値	中間目標値	最終目標値														
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)														
		50%	100%	100%														
		0%	100%	100%														
全体事業費		合計 (A+B+C+D)	1,480百万円	A	1,480百万円	B	C	D	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)									
交付対象事業																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考				
										H28	H29	H30	H31	H32				
No.1津田沼処理区																		
A1-1-1	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市	処理場	津田沼浄化センター改築(Ⅰ)	管理棟設備改築	習志野市						1,400		策定済	長寿命化計画
No.2印旛処理区																		
No.3高瀬処理区																		
No.4市域全域																		
A4-1-1	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市		ストックマネジメント計画策定	計画策定	習志野市						80		未策定	ストックマネジメント計画
小計(下水道事業)											1,480							
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考						
										H28	H29	H30	H31	H32				
合計											0							
C 効果促進事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考						
										H28	H29	H30	H31	H32				
合計											0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考							
									H28	H29	H30	H31	H32					
合計											0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c-a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	1 習志野市における安全で安心な下水道整備(防災・安全)	交付対象	習志野市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画名称: 習志野市における安全で安心な下水道整備(防災・安全)

事業主体名: 習志野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	
全県域汚水処理適正構想、流域別下水道総合整備計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
2) 地域の課題への対応	
地域課題(生活環境の改善、公共用水域の水質保全、水害の防止等)を踏まえた目標設定となっている。	○
広域的観点から、整備地区の位置づけが行われている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 目標と事業内容の整合性等	
整備計画の目標と定量的指標(数値目標)の整合性が確保されている。	○
指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 事業の効果	
効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境	
計画について住民等との合意形成ができている。	○
計画の具体性等の事業の熟度が高い。	○
2) 地元の機運	
住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性が高い。	○
継続的な事業の展開が見込める。	○